

留萌信用金庫 ディスクロージャー誌 2024年度上期

令和6年4月1日→令和6年9月30日



当金庫の2024年9月期(令和6年4月1日～令和6年9月30日)における
半期情報についてお知らせいたします。
なお、以下に掲げる開示情報は、当金庫任意の情報として開示しております。

るしんは、地域経済の発展 お客さまの幸せづくりに貢献していきます

当金庫は、地域金融機関として持続可能な地域社会を創るため、2024年度より3ヵ年計画『しんきん「未来を拓く
変革への挑戦」～信用金庫の真価の発揮と地域の持続的発展を目指して～』を策定し、地域が抱える様々な課題の解決
に向け取り組んでおります。

労働環境の変化やデジタル化の加速など社会・経済のあり方が変容し、今後も更なる環境変化が見込まれる状況下で、
当金庫は常に変化に対応し、「事業者の企業価値向上」、「個人の豊かな暮らし・幸せな生涯の実現」、「地域の持続的発展」
に取り組んでまいります。

地域社会への貢献を目指して

当金庫は、留萌市、留萌管内、旭川市、札幌市を主な事業領域として、営業地域の中小企業者や住民の皆さまが会
員となって、お互いに助け合い、ともに発展していくことを共通の理念とする相互扶助型の金融機関です。

お客さまからお預かりした大切な預金は、営業地域で資金を必要とされるお客さまにご融資をすることで、事業
や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員としてお客さまとの強い絆とネットワークを形成し、地域
経済の持続的発展に努めております。

留萌信用金庫と地域社会

お客さまからお預りいただいた預金積金につきましては、
お客さまの様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資す
るために、円滑な資金供給を行う形でお客さまや地域社会に還
元しております。

お客さまからお預かりした預金積金2,716億26百万円のうち、
個人や事業者等への貸出金は1,266億76百万円であります。

そのうち、事業者へのご融資の占める割合は78%を超えて
おります。また、令和6年4月から令和6年9月までの6ヵ月間
で新たに融資した件数は1,382件、金額は186億45百万円の
実績となっております。(既存貸出金の再融資も含みます。)

事業者向け貸出金	995 億 36 百万円
個人向け貸出金	200 億 18 百万円
地方公共団体向け貸出金	71 億 21 百万円
預貸率（預金残高に占める貸出金残高の割合）	46.63%
設備資金	682 億 03 百万円
運転資金	584 億 73 百万円
住宅ローン	130 億 83 百万円
消費者ローン	44 億 69 百万円
代理業務貸付	10 億 28 百万円



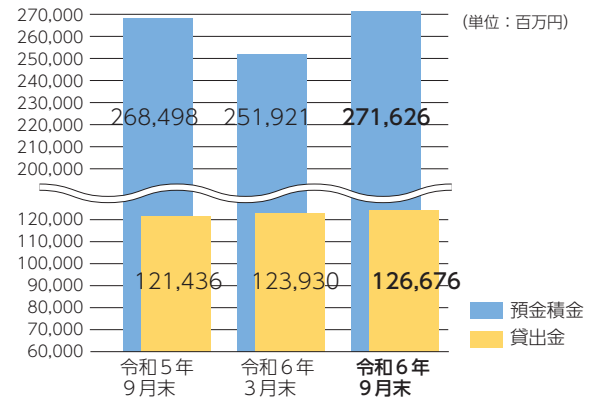
預金積金・貸出金の状況

●預金積金は、個人預金の増加を主体に、前年同期に比べ増加しました。貸出金は、一般法人の増加を主体に、前年同期に比べ増加しました。

預金積金

(単位：百万円)

	令和6年9月末	〈参考〉令和5年9月末	令和6年3月末
流動性預金	132,829	131,846	118,940
定期性預金	138,796	136,651	132,981
計	271,626	268,498	251,921
譲渡性預金	—	—	—
合計	271,626	268,498	251,921

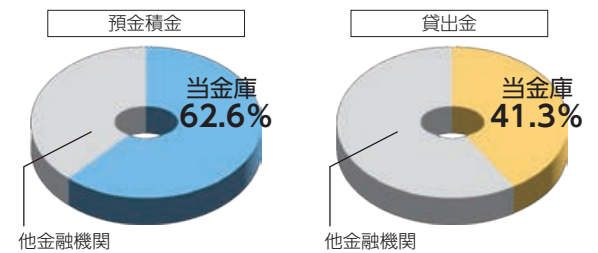


貸出金

(単位：百万円)

	令和6年9月末	〈参考〉令和5年9月末	令和6年3月末
割引手形	194	283	201
手形貸付	8,212	8,428	10,372
証書貸付	110,375	105,017	106,393
当座貸越	7,893	7,707	6,963
合計	126,676	121,436	123,930

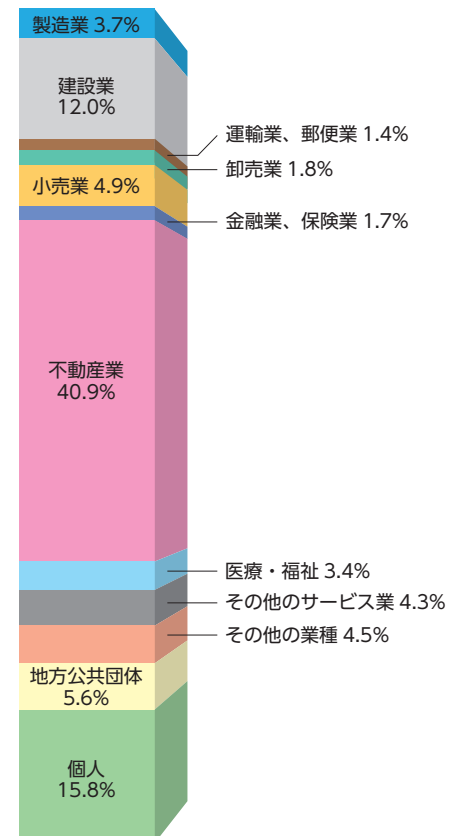
留萌営業管内(初山別以南)の預金積金・貸出金占有率



貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

	令和6年9月末	〈参考〉令和5年9月末	令和6年3月末
製造業	4,674	4,650	4,028
農業、林業	189	190	198
漁業	146	132	163
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	15,323	15,733	15,351
電気・ガス・熱供給・水道業	121	168	142
情報通信業	696	747	388
運輸業、郵便業	1,812	1,953	1,770
卸売業	2,293	2,278	2,156
小売業	6,202	6,287	6,085
金融業、保険業	2,100	2,846	2,077
不動産業	51,878	46,217	48,577
物品賃貸業	859	547	698
学術研究、専門・技術サービス業	911	744	795
宿泊業	198	206	214
飲食業	1,215	1,252	1,374
生活関連サービス業、娯楽業	808	833	779
教育、学習支援業	409	172	362
医療・福祉	4,308	4,368	4,362
その他のサービス業	5,384	4,628	4,747
小計	99,536	93,958	94,276
地方公共団体	7,121	8,101	10,135
個人(住宅・消費・納税資金等)	20,018	19,376	19,518
合計	126,676	121,436	123,930



(注) 1. 個人事業主については、資金使途に拘らず業種区分別に表示しております。
2. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況(単体)

●当金庫の令和6年9月末現在の破産更生債権及びこれらに準ずる債権・危険債権・三月以上延滞債権・貸出条件緩和債権の合計額は37億86百万円です。

このうち、担保及び保証により19億67百万円が保全され、さらに個別貸倒引当金・一般貸倒引当金を17億16百万円積んでおり、この合計額36億83百万円にてリスク管理債権の97.29%が保全されております。

さらには、これまでの利益金の積立等による自己資本額が166億10百万円あり、将来の信用リスク発生に備えて万全を期しております。一方、企業再生の支援を目的に「経営支援課」を設置し、積極的に取引先の経営相談にあずかっており、資産内容の更なる健全化に向けて体制を強化しております。

当金庫は、今後とも貸出資産の健全性を確保するため厳格な審査と信用リスク管理を徹底し、経営の健全性を高めて参ります。

(単位：百万円、%)

区 分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等 (c)		貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a-c)
破 産 更 生 債 権 及 び こ れ ら に 準 ず る 債 権	令和6年3月末	1,735	1,735	245	1,490	100.00	100.00
	令和6年9月末	1,662	1,662	191	1,470	100.00	100.00
危 険 債 権	令和6年3月末	1,942	1,844	1,616	228	94.96	70.00
	令和6年9月末	2,018	1,913	1,670	243	94.83	70.00
要 管 理 債 権	令和6年3月末	7	1	—	1	14.91	14.91
	令和6年9月末	105	106	104	2	101.58	409.27
三 月 以 上 延 滞 債 権	令和6年3月末	—	—	—	—	—	—
	令和6年9月末	104	106	104	2	102.09	—
貸 出 条 件 緩 和 債 権	令和6年3月末	7	1	—	1	14.91	14.91
	令和6年9月末	0	0	—	0	2.10	2.10
小 計 (A)	令和6年3月末	3,685	3,581	1,861	1,719	97.16	94.27
	令和6年9月末	3,786	3,683	1,967	1,716	97.29	94.36
正 常 債 権 (B)	令和6年3月末	121,708					
	令和6年9月末	124,560					
総 与 信 残 高 (A) + (B)	令和6年3月末	125,393					
	令和6年9月末	128,346					

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行

った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。

6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、[その他資産]中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

損益の状況

●令和6年9月末仮決算は、前年同期に比べ、貸出金の増加や金利上昇に伴う預け金利息の増加により経常利益、当期純利益ともに増益となりました。

(単位：百万円)

	令和6年9月末	(参考) 令和5年9月末	令和6年3月末
業 務 純 益	632	527	1,077
実 質 業 務 純 益	632	527	1,082
コ ア 業 務 純 益	632	526	1,077
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益を除く)	632	526	1,077
経 常 利 益	705	559	1,090
当 期 純 利 益	503	405	784

業務純益

本来の業務でいくら利益を出したのかを示す利益で、金融機関の収益状況を最も的確に示している重要な指標です。
＝業務収益－(業務費用－金銭の信託運用見合費用)

実質業務純益

業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
＝業務収益＋一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益

預貸等本業による基本的な利益額を示すもので、実質業務純益から債券運用による損益の影響を除いたものです。
＝実質業務純益－債券5勘定戻

コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)

コア業務純益から、さらに投資信託解約による損益の影響を除いたものです。
＝コア業務純益－投資信託解約損益

経常利益

経常収益から経常費用を引いたもので、通常の損益を示すものです。
＝経常収益－経常費用

有価証券の時価情報

満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種 類	令和6年9月末			令和6年3月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が 貸借対照表計上額を 超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	928	942	14	932	954	22
	社 債	696	696	0	2,753	2,758	5
	外 国 証 券	1,500	1,547	47	1,799	1,875	76
	小 計	3,124	3,186	62	5,484	5,588	103
時価が 貸借対照表計上額を 超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	1,396	1,385	△ 10	1,391	1,384	△ 6
	外 国 証 券	10,699	9,296	△ 1,402	10,400	9,200	△ 1,199
	小 計	12,095	10,682	△ 1,413	11,791	10,585	△ 1,205
合 計		15,219	13,869	△ 1,350	17,275	16,173	△ 1,102

(注) 時価は期末日における市場価格等に基づいております。

その他有価証券

(単位：百万円)

	種 類	令和6年9月末			令和6年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えるもの	債 券	4,228	4,207	20	6,274	6,219	54
	国 債	—	—	—	1,013	999	13
	地 方 債	1,919	1,907	12	3,231	3,208	22
	社 債	2,308	2,300	8	2,030	2,012	18
	そ の 他	3,753	3,409	344	4,512	4,110	401
	小 計	7,981	7,616	364	10,787	10,330	456
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えないもの	債 券	26,333	28,426	△ 2,092	24,799	26,559	△ 1,759
	国 債	9,317	10,792	△ 1,474	8,533	9,792	△ 1,259
	地 方 債	2,526	2,643	△ 117	1,784	1,877	△ 92
	社 債	14,489	14,990	△ 500	14,481	14,889	△ 407
	そ の 他	2,414	2,648	△ 233	1,565	1,708	△ 142
	小 計	28,748	31,075	△ 2,326	26,365	28,267	△ 1,901
合 計		36,730	38,692	△ 1,961	37,152	38,598	△ 1,445

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 「その他」項目は投資信託、信金中金優先出資であります。

時価のない有価証券

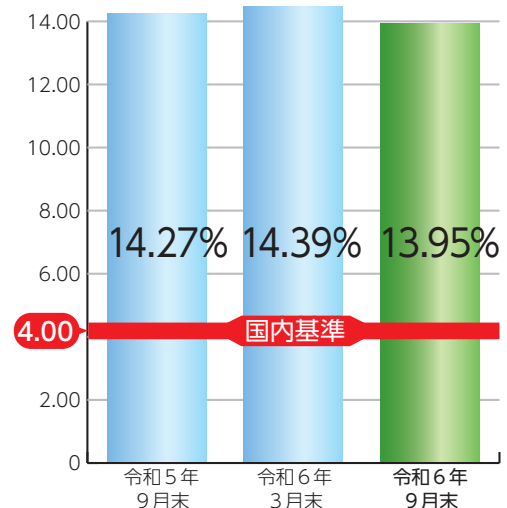
(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	15	15
そ の 他 有 価 証 券	7	7

単体自己資本比率 (国内基準)

	令和6年9月末	(参考) 令和5年9月末	令和6年3月末
単 体 自 己 資 本 比	13.95%	14.27%	14.39% (実績)

- 自己資本額は増加したものの、貸出金の増加に伴い、算出分母である信用リスクアセット額が増加したことから、令和6年9月末決算の自己資本比率は、13.95%と前年同期に比べ0.32ポイント低下しましたが、国内基準の4%を大幅に上回っております。
なお、自己資本額は166億10百万円と前年同期に比べ8億32百万円増加し、順調に推移しております。
- 令和6年9月末の自己資本比率規制に係る定量情報については、次ページより開示しておりますのでご参照ください。



自己資本比率規制による当金庫の自己資本の充実の状況等について【単体】

自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
●コア資本に係る基礎項目（1）		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	17,012	16,511
うち、出資金及び資本剰余金の額	560	563
うち、利益剰余金の額	16,452	15,970
うち、外部流出予定額（△）	－	22
うち、上記以外に該当するものの額	－	－
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	138	188
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	138	188
うち、適格引当金コア資本算入額	－	－
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	－	－
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	－	－
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	－	－
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	17,151	16,700
●コア資本に係る調整項目（2）		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	20	22
うち、のれんに係るものの額	－	－
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	20	22
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	－	－
適格引当金不足額	－	－
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	－	－
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	－	－
前払年金費用の額	520	522
自己保有普通出資等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	－	－
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	－	－
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	－	－
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	－	－
特定項目に係る10パーセント基準超過額	－	－
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	－	－
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	－	－
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	－	－
特定項目に係る15パーセント基準超過額	－	－
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	－	－
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	－	－
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	－	－
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	540	544
●自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	16,610	16,155
●リスク・アセット等（3）		
信用リスク・アセットの額の合計額	113,723	106,950
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	－	－
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	－	－
うち、上記以外に該当するものの額	－	－
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	5,278	5,278
信用リスク・アセット調整額	－	－
オペレーショナル・リスク相当額調整額	－	－
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	119,002	112,229
●自己資本比率		
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	13.95%	14.39%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

信用リスクに関する事項 (証券化エクスポージャーを除く) (定量情報)

信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高

(単位：百万円)

エクスポージャー 区分 地区別・ 業種別・ 残存期間別区分	信用リスクエクスポージャー期末残高								三月以上延滞 エクスポージャー	
			貸出金、コミットメント及びその他の デリバティブ以外のオフ・バランス取引		債 券		その他			
	令和 6 年 9 月末	令和 6 年 3 月末	令和 6 年 9 月末	令和 6 年 3 月末	令和 6 年 9 月末	令和 6 年 3 月末	令和 6 年 9 月末	令和 6 年 3 月末	令和 6 年 9 月末	令和 6 年 3 月末
国 内	280,690	260,649	128,121	125,262	38,225	40,426	114,342	94,960	252	200
国 外	9,722	9,711	—	—	9,722	9,711	—	—	—	—
地 区 別 合 計	290,412	270,361	128,121	125,262	47,947	50,137	114,342	94,960	252	200
製 造 業	7,370	6,738	4,760	4,128	2,600	2,600	9	9	5	5
農 業、林 業	189	198	189	198	—	—	—	—	—	—
漁 業	146	164	146	164	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 設 業	15,868	15,826	15,868	15,826	—	—	—	—	2	2
電気・ガス・熱供給・水道業	10,345	10,366	121	142	10,224	10,224	—	—	—	—
情 報 通 信 業	1,559	731	1,053	727	502	—	3	3	—	—
運 輸 業、郵 便 業	2,811	3,214	1,854	1,818	956	1,395	0	0	7	1
卸 売 業、小 売 業	8,723	8,276	8,522	8,276	200	—	—	—	73	131
金 融 業、保 険 業	127,434	110,141	2,101	2,078	16,671	18,587	108,662	89,475	—	—
不 動 産 業	52,566	49,207	52,066	48,707	500	499	—	—	111	5
物 品 賃 貸 業	859	699	859	699	—	—	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	912	795	912	795	—	—	—	—	—	—
宿 泊 業	199	214	199	214	—	—	0	0	—	—
飲 食 業	1,216	1,375	1,216	1,375	—	—	—	—	3	2
生活関連サービス業、娯楽業	808	780	808	780	—	—	—	—	—	0
教育、学習支援業	409	362	409	362	—	—	—	—	1	—
医 療・福 祉	4,363	4,421	4,363	4,421	—	—	—	—	—	—
その他のサービス業	5,440	4,803	5,433	4,796	—	—	6	6	31	34
国・地方公共団体等	23,414	26,974	7,121	10,144	16,292	16,830	—	—	—	—
個 人	20,036	19,539	20,036	19,539	—	—	—	—	15	18
そ の 他	5,736	5,528	75	63	—	—	5,660	5,464	—	—
業 種 別 合 計	290,412	270,361	128,121	125,262	47,947	50,137	114,342	94,960	252	200
1 年 以 下	42,934	48,673	18,913	19,982	1,844	5,513	22,175	23,177		
1 年 超 3 年 以 下	36,403	32,795	5,938	5,895	1,964	1,399	28,500	25,500		
3 年 超 5 年 以 下	23,762	18,524	11,927	11,058	9,835	5,966	2,000	1,500		
5 年 超 7 年 以 下	18,989	22,834	16,649	17,979	2,339	4,855	—	—		
7 年 超 10 年 以 下	24,078	22,028	16,086	15,603	4,491	4,424	3,500	2,000		
10 年 超	93,001	89,657	58,529	54,678	27,471	27,979	7,000	7,000		
期間の定めのないもの	51,243	35,846	75	63	—	—	51,167	35,783		
残 存 期 間 別 合 計	290,412	270,361	128,121	125,262	47,947	50,137	114,342	94,960		

- (注) 1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除く。なお、当金庫はデリバティブ取引はございません。
2. 「貸出金」には、貸出金の他、与信関連の未収利息及び仮払金を含んでおります。
3. 「債券」には、債券関連の未収利息が含まれております。
4. エクスポージャー区分の「その他」には、現金、預け金、債券を除く有価証券、有形固定資産、繰延税金資産及びその他の資産等を含んでおります。
5. 業種別区分の「その他」は、裏付けとなる個々の資産の全部又は一部を把握することが困難な投資信託等および業種別区分に分類することが困難なエクスポージャーです。具体的には、現金、投資信託、有形固定資産、繰延税金資産及びその他の資産等を含んでおります。
6. CVA リスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

(単位：百万円)

	令和 6 年 9 月末					令和 6 年 3 月末				
	期首残高	当期 増加額	当期減少額		期末残高	期首残高	当期 増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他				目的使用	その他	
一 般 貸 倒 引 当 金	188	138	—	188	138	183	188	—	183	188
個 別 貸 倒 引 当 金	1,722	1,718	—	1,722	1,718	1,708	1,722	—	1,708	1,722
合 計	1,911	1,857	—	1,911	1,857	1,892	1,911	—	1,892	1,911

- (注) 1. 貸倒引当金は、貸出金等の資産が回収できなくなった場合に備えて積み立てておくもので、自己査定基準及び償却・引当基準により計上しております。
一般貸倒引当金は、将来の不良債権の発生に備えて、自己査定上の正常債権・要注意先債権などの債権に対して、過去の貸倒実績から算出した貸倒実績率に基づき計上しております。一方、個別貸倒引当金は、破綻先や破綻懸念先などに対する債権に対して計上しております。
2. 「期首残高」は、当該年度の期首の計数を記載しております。

自己資本比率規制による当金庫の自己資本の充実の状況等について【単体】

Ⅷ業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等 (単位：百万円)

	個別貸倒引当金										貸出金償却	
	期首残高		当期増加額		当期減少額				期末残高			
					目的使用		その他					
	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末
製 造 業	553	567	580	553	－	－	553	567	580	553	－	－
農 業、林 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
漁 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
鉱業、採石業、砂利採取業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
建 設 業	329	334	327	329	－	－	329	334	327	329	－	－
電気・ガス・熱供給・水道業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
情 報 通 信 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
運 輸 業、郵 便 業	291	294	286	291	－	－	291	294	286	291	－	－
卸 売 業、小 売 業	398	377	386	398	－	－	398	377	386	398	－	－
金 融 業、保 険 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不 動 産 業	3	1	2	3	－	－	3	1	2	3	－	－
物 品 賃 貸 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
学術研究、専門・技術サービス業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
宿 泊 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
飲 食 業	3	3	3	3	－	－	3	3	3	3	－	－
生活関連サービス業、娯楽業	7	9	6	7	－	－	7	9	6	7	－	－
教育、学 習 支 援 業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
医 療・福 祉	78	67	71	78	－	－	78	67	71	78	－	－
そ の 他 の サ ー ビ ス 業	34	30	34	34	－	－	34	30	34	34	－	－
国・地方公共団体等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
個 人	20	21	19	20	－	－	20	21	19	20	－	－
そ の 他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
業 種 別 合 計	1,722	1,708	1,718	1,722	－	－	1,722	1,708	1,718	1,722	－	－

※ゴルフ会員権含む (注) 当金庫は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。

Ⅸリスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等 (単位：百万円)

告 示 で 定 め る リスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	格付適用有り		格付適用無し	
	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末
0%	6	—	82,623	76,209
10%	—	—	10,072	8,968
20%	89,168	84,595	2,552	795
35%	—	—	2,123	2,266
50%	14,677	14,401	123	125
75%	—	—	14,342	12,545
100%	401	401	71,850	67,650
150%	—	—	278	193
250%	—	—	2,192	2,205
合 計	104,252	99,399	186,159	170,962

(注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限っております。
2. エクスポージャーは、信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しております。

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー (単位：百万円)

信用リスク削減 手法	適格金融資産担保		保 証	
	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末
ポート フォリオ				
信用リスク削減手法が適用 されたエクスポージャー	1,119	1,059	17,056	19,323

(注) 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

金利リスクに関する事項（定量情報） (単位：百万円)

	イ	ロ	ハ	ニ
	Δ E V E		Δ N I I	
	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末
上方パラレルシフト	4,897	5,356	391	288
下方パラレルシフト	0	0	97	245
ス テ ィ ー プ 化	4,788	5,054		
フ ラ ッ ト 化	0	0		
短 期 金 利 上 昇	0	0		
短 期 金 利 低 下	203	113		
最 大 値	4,897	5,356	391	288
	ホ		ヘ	
	令和6年9月末		令和6年3月末	
自 己 資 本 の 額	16,610		16,155	

自己資本の充実度に関する事項 (定量情報)

(単位：百万円)

項 目	リスク・アセット		所要自己資本額	
	令和6年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末	令和6年3月末
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	113,723	106,950	4,548	4,278
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	110,668	104,092	4,426	4,163
1. ソプリン向け	70	70	2	2
2. 金融機関向け	15,214	14,084	608	563
3. 法人等向け	21,205	20,605	848	824
4. 中小企業等・個人向け	11,878	10,828	475	433
5. 抵当権付住宅ローン	1,143	1,221	45	48
6. 不動産取得等事業向け	45,646	42,091	1,825	1,683
7. 三月以上延滞等	164	9	6	0
8. 取立未済手形	12	19	0	0
9. 信用保証協会等による保証付	932	819	37	32
10. 出資等	3,925	3,845	157	153
11. 上記以外	10,474	10,495	418	419
他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部 TLAC 関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	5,011	5,011	200	200
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	1,728	1,728	69	69
特定項目のうち調整項目に算入されない部分	469	503	18	20
上記以外	3,265	3,251	130	130
②証券化エクスポージャー	66	66	2	2
③オフ・バランス取引等	1,294	1,188	51	47
④リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	1,585	1,493	63	59
ルック・スルー方式	1,585	1,493	63	59
⑤ CVA リスク相当額を 8% で除して得た額	109	109	4	4
⑥中央精算機関関連エクスポージャー	0	0	0	0
ロ. オペレーショナル・リスク相当額を 8% で除して得た額	5,278	5,278	211	211
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	119,002	112,229	4,760	4,489

(注) 1. 所要自己資本額＝リスク・アセット×4%

2. オペレーショナル・リスク相当額は、当金庫は基礎的手法を採用しております。

3. 単体総所要自己資本額＝単体自己資本比率の分母の額×4%

〈オペレーショナルリスク相当額〉粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15%
(基礎的手法)の算定方法 直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数

リスク・ウェイトのみなし計算が適用される
エクスポージャーに関する事項 (定量情報)

(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
ルック・スルー方式を適用するエクスポージャー	1,652	1,493

証券化エクスポージャーに関する事項
(再証券化エクスポージャーは保有しておりません)

イ オリジネーターの場合

・該当ございません。

ロ 投資家の場合

①保有する証券化エクスポージャーの額および主な原資産の種類別の内訳 (単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
証券化エクスポージャーの額	5	5
匿名組合出資	5	5

(注) 再証券化エクスポージャーは保有しておりません。

②保有する証券化エクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトの区分ごとの残高及び所要自己資本の額等 (単位：百万円)

告示で定める リスク・ ウェイト 区 (%)	エクスポージャー残高		所要自己資本の額	
	令和6年 9月末	令和6年 3月末	令和6年 9月末	令和6年 3月末
1,250%	5	5	2	2
匿名組合出資	5	5	2	2

(注) 所要自己資本の額＝エクスポージャー残高×リスク・ウェイト×4%

③保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法適用の有無
・該当ございません。

出資等エクスポージャーに関する事項

イ 貸借対照表計上額及び時価等

(単位：百万円)

区 分	令和6年9月末		令和6年3月末	
	貸借対照表計上額	時 価	貸借対照表計上額	時 価
上 場 株 式 等	4,556	4,556	4,564	4,564
非上場株式等	1,258	1,258	1,258	1,258
合 計	5,814	5,814	5,822	5,822

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

2. 投資信託等の裏付けは資産のうち、出資等エクスポージャーに該当する部分は一括して「上場株式等」に含めております。

3. 「非上場株式等」には時価を把握することが困難と認められる非上場株式、その他出資金、信金中央金庫普通出資金が含まれます。

ロ 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額 (単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
売 却 益	—	12
売 却 損	—	—
償 却	—	—

(注) 損益計算書における損益の額を記載しております。

ハ 貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額
(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
評 価 損 益	156	244

ニ 貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額 (単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末
評 価 損 益	—	—

●「信用金庫の日」愛の献血運動(6月14日)

信用金庫の日になんだ社会貢献活動の一環として、お客さまや役職員の計41名が献血に協力しました。



●ボランティア活動の実施(7月5日)

留萌市内の役職員42名が留萌市の黄金岬にて清掃活動を行ったほか、各地区にてそれぞれボランティア清掃を行いました。



●地域振興助成金贈呈式(7月10日)

留萌観光連盟さまへ地域振興助成金を贈呈しました。今回は「デジタルドッキングマップ」の作成費用の一部として助成金を進呈させていただきました。



●しんきん野球大会の応援(7月20日)

名寄市営球場にて道北地区の信用金庫が対戦。役職員115名が一丸となって応援しました。選手たちのナイスプレーで応援も熱くなりました。



●理事長杯ゴルフコンペの実施(7月22日～札幌、8月1日～留萌、9月20日～旭川)

留萌、旭川、札幌の各地区において理事長杯ゴルフコンペを開催し、計235名にご参加いただきました。



●るもい呑瀧まつりへの参加(7月27日)

留萌管内の役職員と、旭川・札幌の若手職員計63名が参加し、元気いっぱいお祭りを盛り上げました。



●職員スキルアップ勉強会の実施(第1回～8月23日、第2回～9月26日)

外部研修などに参加した職員が講師となって、研修で学んだことなどの報告を兼ねて講義する勉強会です。職員の育成の場として「スキルアップ勉強会」は定期的に開催されています。



●メディカルカフェの開催(8月30日)

札幌医科大学と共同でメディカルカフェを開催しました。「胃腸と健康」をテーマに講演会を実施したほか、札幌医科大学生が地域医療を学ぶ一環として、地域の方々と交流しました。



●中学生1日職場体験の受け入れ(9月5日)

留萌中学校の生徒が当金庫本店に1日職場体験に来ました。模擬紙幣でお金を数える「札勘(さつかん)」を練習したり、窓口業務の体験をしてもらいました。



●旭川「駅マルシェ」にてお取引先支援(9月14日～16日)

JR旭川駅で開催された「駅マルシェ」にお取引先6先に参加していただき、当金庫職員もお手伝いをして地域の商品をPRいたしました。



●るしん未来塾の開催

(第1回～6月28日、第2回～7月24日)

「るしん未来塾」は若手経営者さまや経営幹部さまを対象に、講義、実習、ケーススタディを通じて実践的に学ぶほか、異業種交流の場として活用していただきました。



第1回 白戸 三四郎 氏

テーマ「バイアス(自分本位の思い込み)を知り、真のリーダーシップを」



第2回 東 英憲 氏

テーマ「激安ニッポン！
～インフレ時代に生き残る企業の姿～」

●三金庫合同講演会(9月7日)

「るしん未来塾」第3回特別回として当金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫の三金庫の合同でテレビでもおなじみの「辛坊 治郎 氏」をお招きして講演会を開催しました。講演後は懇親会を開催し、三金庫から参加したお客さまが人脈作りの場として親交を深めていました。



講師：辛坊 治郎 氏



テーマ
「どうなる日本？！
時代を読み解く
～正しい判断は
正しい情報から」



留萌信用金庫の概要

理事長	中村 康存	貸出金	1,266 億 76 百万円
創立	昭和 7 年 12 月 23 日	店舗数	16 店舗
出資金	5 億 60 百万円	役員数	151 人
会員数	12,609 人	金融機関コード	1022
預金	2,716 億 26 百万円		〈令和 6 年 9 月末〉

■店舗のご案内 [金融機関コード：1022 (カッコ内は店番号)]

店内 ATM の利用可能日は

●は平日・土・日曜日・祝日、●は平日のみ。

全店、振込のお取り扱いができます。

留萌地区	●本店 (050)	留萌市花園町 2 丁目 1-8	☎ 0164-42-1250
	●中央支店 (001)	留萌市本町 4 丁目 14	☎ 0164-43-7111
	●増毛支店 (003)	増毛町弁天町 1 丁目 31	☎ 0164-53-2375
	●小平支店 (004)	小平町字小平町 223	☎ 0164-56-2311
	●古丹別支店 (006)	苫前町字古丹別 187 番地の 15 苫前町公民館内	☎ 0164-65-4141
	●苫前支店 (007)	苫前町字苫前 225	☎ 0164-64-2341
旭川地区	●羽幌支店 (008)	羽幌町南 3 条 2 丁目 2	☎ 0164-62-2131
	●初山別支店 (012)	初山別村字初山別 103-6	☎ 0164-67-2221
	●旭川支店 (009)	旭川市 4 条通 14 丁目 612-1	☎ 0166-24-5571
札幌地区	●旭川北支店 (010)	旭川市末広東 1 条 5 丁目 1-10	☎ 0166-53-5215
	●旭川東支店 (011)	旭川市豊岡 4 条 6 丁目 4-24	☎ 0166-33-5611
	●札幌支店 (015)	札幌市東区北 20 条東 16 丁目 2-5	☎ 011-786-3061
	●新川支店 (016)	札幌市北区北 28 条西 15 丁目 3-16	☎ 011-716-6611
	●札幌西支店 (017)	札幌市西区発寒 2 条 5 丁目 1-7	☎ 011-667-7111
	●月寒支店 (018)	札幌市豊平区月寒中央通 5 丁目 1-8	☎ 011-855-8911
	●札幌中央支店 (019)	札幌市中央区南 1 条東 3 丁目 10-1 北海道日伊文化会館新館 1 階	☎ 011-281-8355



ゼロネットサービスタイム

- 平日：8:45 ~ 18:00 の入金・出金
- 土曜：9:00 ~ 14:00 の出金

※上記以外の時間帯および日曜・祝日の ATM 利用には所定の手数料が必要です。
※本サービスをご利用いただけないしんきん ATM が一部ございます。

**しんきんのキャッシュカードなら、
全国のしんきん ATM の平日・土曜日の
入出金手数料が無料です！**

**ご利用は「しんきんゼロネットサービス」の
ステッカーのある ATM で！！**

■店舗外 ATM コーナーのご案内

	コーナー名称	住 所	休日 入金	振込	稼働時間	
					平日	土日祝日
留萌市内	中央スーパードットコム	留萌市錦町 3 丁目	○	○	9:00-19:00	9:00-17:00
	見晴町 1 丁目	留萌市見晴町 1 丁目	○	○	9:00-20:00	9:00-17:00
	マックスバリュ留萌店	留萌市南町 4 丁目	○	○	9:00-19:00	9:00-17:00
	留萌市立病院	留萌市東雲町 2 丁目	—	○	9:00-18:00	—
増毛町内	大通り	増毛町畠中町 3 丁目	—	○	9:30-18:00	—
小平町内	鬼鹿	小平町字鬼鹿港町 小平町多目的防災交流施設 「群来る」内	—	○	8:45-19:00	—

旭川東支店が新築移転いたしました

2024 年 10 月 15 日（火）旭川東支店が新築移転しました。

新しい店舗は、ゆったりとした雰囲気です。手続きや相談が出来るようにローカウンターや座って書ける記帳台などを設置しているほか、駐車場も余裕のある広さを確保しております。

これからますますのご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



〒 077-8686 北海道留萌市花園町 2 丁目 1 番 8 号
TEL 0164-42-1250 (代)
<https://www.shinkin.co.jp/rumoi/>

